

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【岩槻小・中・中等教育学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	学びに向かう力をはぐくみ確かな学力を身につける。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	①各教科の基礎・基本を「学習指導要領」を基に明確化する。(1学期)②朝の時間を活用し教科(主に国語や算数)の反復練習(生成AIによる小テストやプリント等を活用)に取り組む。また情報活用能力の向上を図るためタイピングにも取り組む。(通年)③授業展開に個別最適な学びと協働的な学びを明確に位置付け、「知識・技能」「思考・表現・判断」を基礎・基本の定着を図る。(通年)④スクールタクトやアンケート等のデータ収集や分析による多角的な視点での児童理解を推進し、各教科で豊かな言語活動を促進、効果的にICTを活用する視点での授業改善を行い児童の主体性を引き出す。(通年)⑤学校課題研究を中心に教職員の授業力・指導力の向上を図る。(通年)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
	結果提供(2月)	さいたま市学習状況調査(学力) <小3～中3>(1月)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	学力向上策の充実 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業
結果から考えられる 児童生徒の実態	

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	①調査問題の解説 ②調査問題の振り返り ③振り返りの終了報告
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
↓	
学力向上策の 見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)